

2020年・被爆75年へ、核兵器のない世界、非核平和の日本を 歴史と道理に立って非核平和の東アジア実現を

歴史の反省と対話による解決を

日韓関係の悪化が止まりません。問題の根源は、安倍政権に朝鮮半島を侵略・植民地支配したことへの反省がないことです。これがなければ、韓国との真摯な話し合いはできません。

74年前、強制連行など植民地支配を背景にして広島と長崎にいたために、多くの朝鮮の人々も被爆したことを忘れてはなりません。

核兵器禁止へ行動し、憲法9条を生かす日本を

加害の歴史に向き合えないと、被害にも向き合えません。安倍首相は、広島・長崎の被爆者との懇談で、核兵器禁止条約への参加を求められても、米国の「核の傘」を理由に拒みました。

東アジアの平和には、核兵器禁止の実現に行動し、憲法9条に沿って紛争の平和解決に力を尽くす日本が必要です。一人ひとりの非核平和への願いを、「ヒバクシャ国際署名」にぜひ託してください。(2019・9・6)

核兵器禁止条約発効へ前進 批准が25か国に

8月6日、広島原爆の日に、南米のボリビアが核兵器禁止条約を批准しました。禁止条約を批准した国はこれで25か国に達し、発効に必要な50か国の半数となりました。

9月20日で禁止条約の調印・批准が始まってから2年です。他の軍縮条約と比べて調印・批准する国が増えるペースは速いとの評価もある一方、核保有国や日本など「核の傘」の下にある国々は背を向けたままです。「ヒバクシャ国際署名」など草の根の声と行動がますます求められています。

「ヒバクシャ国際署名」はQRコードからオンラインでお願いします！



国連認証 NGO・原水爆禁止日本協議会(日本原水協)

TEL03-5842-6031 HP:<http://www.antiatom.org/>